

2023年11月10日
日本化粧品工業会

JCIA アクティビティレポート《第2号》

1. 2023年度化粧品関係業界専門紙との懇談会開催報告

2023年9月29日(金)14時から化粧品関係業界専門紙との懇談会が、日本化粧品工業会3階会議室及び一部オンライン(Zoom)を用いて行われた。

化粧品関係業界専門紙12社15名が出席し、魚谷会長、水野副会長兼中部日本支部長(オンラインによる出席)、西村副会長兼西日本支部長、斉藤常任理事会議長、山本専務執行理事らと懇談を行った。



左から、水野副会長兼中部日本支部長(モニター)、西村副会長兼西日本支部長、魚谷会長、斉藤常任理事会議長、原谷広報委員長(司会)



左から、西村副会長兼西日本支部長、魚谷会長、斉藤常任理事会議長



水野副会長兼中部日本支部長
(モニター画面)



会長・支部長ご挨拶の様子



会場の様子

2. JCIA 主催セミナー開催報告

開催日	タイトル	開催形式	参加人数	関連 URL
2023 年 7 月 24(月) ～8月10(木)	2023 年度サステナビリティセミナー ～サステナビリティ指針(第2版)及び解説編～	Zoom によるオンデマンド配信	226 ※会員限定	サステナビリティ指針 日本化粧品工業会 (jcia.org)
10 月 6 日 (金) ～ 31 日(火)	中国化粧品規制説明会ー原料安全性関連情報登録に関する最新情報ー	Zoom によるオンデマンド配信	2216 ※化粧品関連4団体会員 +非会員	海外の化粧品規制 日本化粧品工業連合会 (jcia.org)

10月11日 (水)	2023年度地域交流委員会主催見学会	・養命酒製造株式会社 駒ヶ根工場 ・伊那食品工業株式会社 かんでんぱぱガーデン	62 ※会員限定	
10月17日 (火)	【会員限定】2023年度化粧品安全性評価セミナー(実践入門)	Zoomによるオンラインライブ開催(見逃し配信あり)	473 (250) ※会員限定	安全性とサイエンス 日本化粧品工業会 (jcia.org)

参加人数()内は見逃し配信視聴者数

○2023年度地域交流委員会主催見学会



養命酒製造 駒ヶ根工場
ショップゾーンの見学



伊那食品工業 包装工程見学



伊那食品工業 かんでんぱぱガーデンの見学

○2023年度化粧品安全性評価セミナー(実践入門)



オンラインセミナー当日の配信室の様子(主催:技術委員会安全性部会)

※今後開催予定のイベント・セミナーについては、日本化粧品工業会ホームページ「イベント・セミナー」内に掲載しております。

URL:<https://www.jcia.org/admin/event/>

3. 粧工会の国際活動報告

粧工会は、2023年4月～10月にかけて、以下の国際活動を行った。(以下、粧工会をJCIAと表記する。)

【国際会議】

IAC Meeting

IAC:International Association Collaboration / 国際化粧品協力会議

開催日:2023年6月13日

開催地:ブリュッセル(ベルギー)

出席団体:CAC(カナダ)、CE(欧州)、PCPC(米)、ABIHPEC(ブラジル)、Accord(オーストラリア)、CASIC(ラテンアメリカ)、ANDI(コロンビア)、CANIPEC(メキシコ)、SKW(スイス)、IKW(ドイツ)、CTPA(英)、KCA(韓国)、JCIA 他

JCIA 出席者:会員企業専門家、JCIA 事務局員

議題:化粧品業界に係る共通の課題について議論。主なテーマは Digitalization of Labeling、Principles & Best Practices for Refilling、EU Green Deal Initiatives など

Cosmetics Europe Annual Conference

開催日:2023年6月14日-15日

開催地:ブリュッセル(ベルギー)

出席者:国際的な化粧品とパーソナルケア製品業界の専門家、政策立案者など

JCIA 出席者:会員企業専門家、JCIA 事務局員

議題:「未来への準備」をテーマに、化粧品業界の最新動向について議論。主なトピックは、化粧品規制、化粧品と持続可能性、マイクロプラスチック規制の理解、世界的な規制の互換性、主要なビジネストレンドなど。

ICCR-17

[年次総会]

ICCR:International Cooperation on Cosmetics Regulation / 化粧品規制協力国際会議

開催日:2023年7月11日-13日

開催地:ブラジリア(ブラジル)

参加国

正メンバー国:Brazil (ANVISA), Canada (HC), Chinese Taipei (TFDA), European Union (EC), Israel (MOH), Japan (MHLW/PMDA), Korea (MFDS), US (US FDA)
オブザーバー国:Cape Verde, Egypt (EDA), China (NMPA/NIFDC), Saudi Arabia (SFDA), UK (OPSS, Office for Product Safety and Standards)

日本側参加者:厚生労働省/医薬品医療機器総合機構

JCIA:国際委員会 ICCR 部会長、JCIA 事務局員

議題:化粧品規制当局から構成される化粧品規制協力のための多国間会議。目的は、国際貿易の障

壁を最小化しつつ、高いレベルの世界的な消費者保護を維持すること。主なテーマは、消費者コミュニケーション、安全性評価の統合戦略IIなど

[Joint Working Group]

Integrated Strategy for Safety Assessment of Cosmetics II WG

開催日(ICCR17 cycle):11月2日、12月12日、1月11日、2月9日、3月9日、4月13日、5月11日、6月6日

開催地:オンライン

参加国:Brazil, Canada, Chinese Taipei, European Union, Japan, Republic of Korea, USA, Columbia, Egypt, People's Republic of China, Thailand, UK

課題:動物を用いずに化粧品の安全性を保証する考え方のベストプラクティスの作成

Consumer Communication WG

開催日(ICCR17 cycle):12月8日、1月10日、1月25日、6月13日

開催地:オンライン

参加国:Brazil, Canada, Chinese Taipei, European Union, Japan, Republic of Korea, USA, Chile, Columbia, Israel, Egypt, People's Republic of China, Saudi Arabia, South Africa, Thailand

課題:アレルゲンの次に消費者にコミュニケーションしていく課題の選出

ISO/TC 217

International Standardization Organization Technical Committee 217 / 国際標準化機構 専門委員会・化粧品

[Working Group 1: Microbiology]

WG1:微生物管理の試験法に関する working group

開催日:4月27日、7月24日(タスクフォース会議)

開催地:オンライン

参加国:アルゼンチン、フランス、スペイン、シンガポール、韓国、アメリカ、ポルトガル、ブラジル、日本、タイ、南アフリカ、

目的:プロバイオティクス製品の試験法作成ガイドランスの検討

[Working Group 3: Analytical Methods]

WG3:分析法に関する working group

開催日:7月6日

開催地:オンライン

参加国:サウジアラビア、アメリカ、ロシア、シンガポール、ブラジル、イラン、フランス、日本、ポルトガル、タイ、韓国、ドイツ、イタリア、スイス、スペイン、スウェーデン

目的:ISO/TS22176:2020(定量的な分析法のバリデーションのアプローチ)に関する定期見直し。

[Work Group 4: Terminology]

WG4:化粧品の用語に関する working group

開催日:6月22日

開催地:オンライン

参加国:サウジアラビア, アメリカ, イタリア, ロシア, フランス, ブラジル, スペイン, タイ, シンガポール, 韓国, コロンビア, 日本, スリランカ, ニュージーランド

日本, スリランカ, ニュージーランド

目的:ISO16128(自然・オーガニック化粧品原料および製品の定義と基準)の定期見直し

[Working Group 7: Sun Protection Test Methods]

WG7:紫外線防御試験法に関する working group

開催日:9月7-8日

開催地:パリ

参加国:サウジアラビア, ドイツ, フランス, スイス, ブラジル, ポーランド, 日本, ポルトガル, タイ, 南アメリカ, イギリス, スペイン, アルゼンチン, アメリカ, オランダ, オーストラリア, ニュージーランド

目的:in vitro SPF 試験法(ダブルプレート法)および Hybrid Defuse Reflectance Spectrometry 法の DIS に向けた検討。

【主な国際交流、連携、協力等】

International Collaboration on Cosmetic Safety (ICCS)

Animal Free な化粧品の安全性評価を研究開発し、教育を行い、行政利用を目指す国際的な非営利団体。2023年にNew Yorkに設立。グローバル化粧品企業26社、各国主要化粧品業界団体、NGOなどが参加。

[Board of Directors]

開催日3月18日、4月1日、6月3日、7月1日、9月8日

開催地:オンライン

目的:ICCSの役員会議。

中国化粧品国際協力フォーラム

開催日:2023年4月16日-17日

開催地:北京(中国)

出席者:北京市管轄行政官、中国保健協会、CE(欧州)、ACA(アセアン)、KCA(韓国)、JCIA 他 JCIA から「コロナ後の社会を見据えた化粧品企業の新たな挑戦」と題して講演(JCIA 事務局員)

香港化粧品工業会主催化粧品セミナー

開催日:2023年5月23日

開催地:香港+オンライン

対象:香港消費者庁および香港税関の職員+大学の職員、学生

目的:広く化粧品に係る制度を理解してもらうことにより、通関時や市場でのトラブル、指摘を未然に防ぐ。

JcIA からの講演:SPF Value Assessment of Sunscreen Products / Measurement of Water Resistance for UV Protection(技術委員会フォトプロテクション部会部会長)

日中化粧品政策交流会議

開催日:2023年5月26日

開催地:上海(中国)

中国側出席者:上海市食品薬品安全研究会化粧品委員会、上海市浦東新区市場監督管理局

日本側出席者: JcIA 国際委員会中国部会委員

議題:日本の化粧品規制・市場の概要と今後の展望, 化粧品監督管理条例に関する解析など

台湾化粧品工業会—JcIA 交流会議 2023

開催日:2023年8月22日

開催地:オンライン会議

出席者:台湾工業会会員

JcIA 国際委員会アジア部会委員

議題:台湾工業会から:PIF 関連講演&議論 PIFと最新動向

JcIA から:Japanese plastic circulation strategy and Packaging ESG Strategy of Kao(サステナビリティ推進委員会 容器包装部会部会長)

粧工会ホームページ(国際活動ページ)

<https://www.jcia.org/user/approach/international/>

英語版 粧工会ホームページ

<https://www.jcia.org/en/>

次のアクティビティレポートは、2024年1月発行予定となります。

以上

日本化粧品工業会 広報委員会

〒105-0001 東京都港区虎ノ門 5-1-5 メトロシティ神谷町6F

TEL:03-5472-2530